

[普及事項]

新技術名: いぶりがっこに適する加工用ダイコンの新品種「秋田いぶりおばこ」の育成

(平成 14～30 年)

研究機関名 農業試験場 野菜・花き部 園芸育種・種苗担当
担 当 者 椿信一・堀内和奈

[要約]

「秋田いぶりおばこ」は、いぶりがっこの原料用に開発された肉質がやや硬い加工用ダイコンの新品種である。早晩性は“中生”で、収穫日数は8月下旬播種で 70 日前後となる。根長が 50cm 未満と比較的短く、曲根が少ない。

[普及対象範囲]

秋田県内の加工用ダイコン生産者

[ねらい]

秋田県の特産品の一つ、いぶりがっこ(いぶりとくあん漬)の原料ダイコンは、歯ごたえを重視し、貯蔵期間を長く保つために、肉質の硬い品種が一般的である。そのため、秋田農試では、肉質の硬い F₁ 品種「秋農試 39 号」(販売名: 新秋田いぶりこまち)を育成している(2010 年)。近年、嗜好が多様化し、消費者からは、軟らかい肉質も含めた様々な硬さの品種が求められている。また、生産現場からは、作期拡大のため、成熟日数が異なる複数品種のラインナップが要望されている。現在、軟らかい F₁ 品種「香漬の助」((株)トーホク)の栽培面積が拡大しているが、保存性を考慮して、やや硬い品種の要望も強い。そこで、従来品種とは異なる硬さで、熟期も異なる F₁ 品種を育成する。

[技術の内容・特徴]

- 1 「秋田いぶりおばこ」は、肉質の硬い在来固定種「山形」からの選抜固定系(YM-4)と、軟らかい市販の F₁ 品種「耐病干し理想」(タキイ種苗(株))の選抜固定系(H-28)を、自家不和合性を利用して組み合わせて 2017 年に育成した正逆交配による F₁ 品種である(データ省略)。
- 2 「秋田いぶりおばこ」の根部肥大(根重から判断)は、「香漬の助」より遅いが、「秋農試 39 号」より早く、収穫日数は8月下旬播種で 70 日前後と、早晩性は“中生”である(図1)。
- 3 「秋田いぶりおばこ」の根部硬度および乾物率は、「香漬の助」と「秋農試 39 号」の間で、肉質は“やや硬”である(図2)。
- 4 「秋田いぶりおばこ」の根長は 50cm 未満で、「香漬の助」より長い「秋農試 39 号」より短く、曲根が少ない(表1、図3)。
- 5 「秋田いぶりおばこ」の根形は“中ぶくれ”で、尻形は“ややつまり”の練馬型で、最大根径は6cm 程度と適度な太さである(表1、図3)。
- 6 「秋田いぶりおばこ」は、「香漬の助」や「秋農試 39 号」と同様に、す入り根や空洞根が発生しにくい(表1)。

[成果の活用上の留意点]

- 1 根部肥大が従来の「秋農試 39 号」より早く、「秋農試 39 号」より晩播できる。播種適期は県内平坦部で8月 11 日～9月7日である。
- 2 収穫は、根重1～1.2kg を目安とする。早晩性は“中生”であるが、収穫日数は栽培時期で変動し、8月中旬播種で 65 日前後、9月上旬播種で 85 日前後となる。
- 3 種子は、許諾先を通じて 2019 年より秋田県内限定で販売される予定である。

[具体的なデータ等]

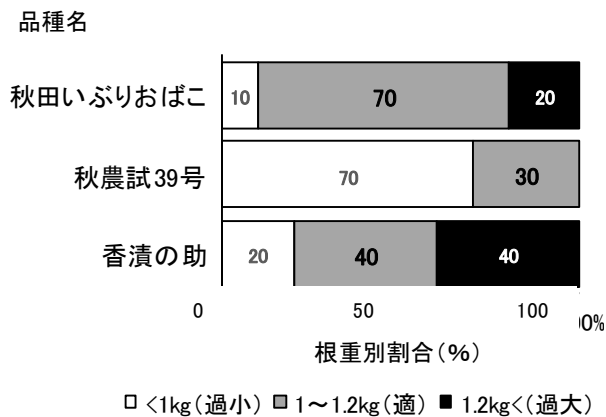


図1 播種後約 70 日の根重別割合 (n=10)

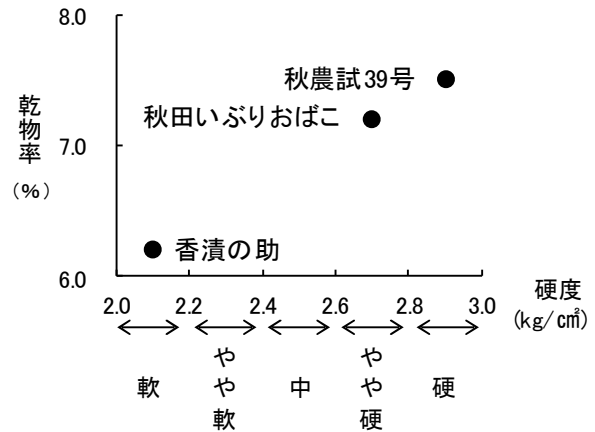


図2 根部の乾物率^zと硬度^y (n=4~5)

^z乾物率は、中心に沿って縦に2分割した根部全体の一片を用いた。

^y硬度は、中心に沿って縦に2分割した根部の中央部に直径3.8 mmの円柱形プランジャーを押し当てて計測した。

表1 根部特性 (n=17~23)

品種名	根重 (kg)	根 ^z 長 (cm)	最大 根径 (cm)	根 形	尻 形	曲根 ^y 率 (%)	す入り根 率 (%)	空洞根 率 (%)
秋田いぶりおばこ	1.10	49.1	6.0	中ぶくれ	ややつまり	0.9	0.0	0.0
秋農試39号	1.08	57.1	5.6	中ぶくれ	流れ	5.5	0.0	0.0
香漬の助	1.11	43.0	6.3	先端近くふくれ	つまり	0.9	0.0	0.0

注) 調査は、収穫に適した根重1~1.2kgの個体について行った。

^z根長: 根径1cmまでの可食部の長さ。

^y根部の中心柱を通る直線が曲点を境に首部と尻部で20度以上の角度で折れ曲がっている根の割合。



図3 根部形状の比較 (bar=10cm)

【耕種概要】

農試・露地栽培 播種: 2017年8月28日、収穫調査: 11月9日 (73日)。 株間 25 cm、畝間 80 cm。

[発表論文等]

品種登録出願: 2018年6月4日、出願公表: 2018年9月20日、出願番号: 第33155号